



R.I.District2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ

2014-2015 年度 R I 会長 ゲイリーC.K.ホアン
2014-2015 年度 魚津RC会長 平崎 暉夫

2015.1.30

多様な役割 施設は老朽化

第2952回例会は23日、ホテルサンルート魚津で開かれました。ゲストに障害児の支援施設、魚津市つくし学園の松岡歩延長を招き、卓話していただきました。

「つくし学園」は精神薄弱児の通園施設として昭和49年に開設された。平成15年4月に市社会福祉協議会に委託し、20年4月から同協議会が指定管理者として運営している。

新川広域圏の市町と滑川市、上市町の児童が利用する。通園児童の発達支援、保育所訪問支援、障害児相談支援、障害児等療育支援といった事業

を職員11人で行っている。

通園児童については、生活指導や個別指導、グループ指導などを行っている。

園舎が老朽化し、手狭になっていること、通園児童が広範囲に及ぶことから送迎バスの増便が求められる。

知的、発達障害児のほか、身体障害児の受け入れなどセンターとしての役割充実も課題だ。



施設の現状についてについて話す松岡歩
つくし学園長=ホテルサンルート魚津

川岸 芳雄さん

1月25日で63歳になる。いよいよ、前期高齢者の予備軍。RCに入会し2年が経過した。クラブの活動に積極的に参加しますので、ご指導を。

寺崎 夫人

妻73歳になる。私より丈夫で、コーラス、バタンク、カローリングなどで活躍している。いただいたチューリップは昔の妻の面影を話しながら渡そうと思う。



平崎会長は例会あいさつで、半世紀(?)以上も前とみられる自身の成人式、中学時代を振り返りました。なるほど、いつまでも記憶に残しておく青春時代だったようで。

14歳の決意どこへ

成人の日の1月12日、市内で成人式がありました。成人と聞いて思い出すことがあります。私が中学2年生の時でした。担任の先生に「自分の思い」を書かされ、20歳の時に読みなさいと言われたのです。

3年前、それが突然、本の間から出てきたのです。読んでみますと、当時の思いは、現実とは程遠い内容でしたが、懐かしさに浸ることは出来ました。



Happy Birthday

